

会議名	第4回 第4分科会（教育分野）
日時	平成21年11月12日（木） 19時00分～21時10分
場所	江南市役所 2階 第1会議室
出席者	市民委員 柴田熙、滝滋、伊神良祐、加藤和夫、高崎悟、鈴木莊六、津田喜代治、丸井ささぐ
	市職員 永井嘉信、河井照夫
議題	1. 江南市まちづくり会議（分野別会議）議事要旨について 2. 前回の会議の報告事項について 3. 平成20年度施策評価結果について 4. その他
資料	1. 江南市まちづくり会議（分野別会議）議事要旨 2. 平成20年度学校評価におけるアンケート 3. 市民満足度調査の概要 4. 江南市戦略計画策定に係る市民意向調査報告書 5. 江南市文化財マップ 6. 平成20年度施策評価の結果【IV 教育分野】

◆ 会議結果 ◆

1. 江南市まちづくり会議（分野別会議）議事要旨について

- ・江南市まちづくり会議（分野別会議）議事要旨について、事務局より説明がありました。

2. 前回の会議の報告事項について

- ・前回の会議で報告事項となっていました、平成20年度学校におけるアンケートの内容（資料配布）と施策「良好な学習環境の構築」の指標「子どもから大人までの教育環境が整っていると感じる市民の割合」の「子どもから大人までの教育環境」が何を示し、なぜ、教育課の施策の指標になるかについて、担当課長（永井）より説明がありました。

3. 平成20年度施策評価結果について

- ・平成20年度施策評価の結果の生涯学習課の各施策について、担当課長（河井）より説明がありました。

〔柱4〕 施策「芸術文化の振興」

- ・市民文化会館の利用状況について質問があり、ホールの利用については利用料金の一部改正をおこない割引制度を実施したことで利用者の利便性を図りました。それにより、稼働率は微増であります。しかし、特別会議室・音楽室・美術工芸室・和室等の施設利用については減少傾向にあります。また、これらの施設については、少人数で利用するには部屋が大きすぎたり、料金が割高に感じられることもあり、利用者の利便性向上を阻害する要因になっていきますとの説明がありました。
- ・学習等供用施設や公民館は無料で利用できるため、利用したい時に利用できないことがある。これらの施設のように、市民文化会館の会議室等の利用料金を無料にすることまではないが、江南市の芸術文化団体に何か料金面での利用特典を付加し、利用してもらう工夫をしなければいけないのではとの意見がありました。
- ・展示室の改修が行われ、壁、移動式展示パネル、床がきれいになり展示環境としては改善されたが、移

動式展示パネルについては壁紙の張替えだけであり、パネルの固定具の機能性は従来と変わらないため、慎重に移動させても床面を傷つけてしまうことがある。また、展示用のチェーン・S字型金具等の規格が統一されていなかったり、不具合のあるものが混入していたりしているのを改善していただきたいとの意見があり、施設改修について小規模な修繕で対応できるものは、指定管理者で対応しますが、大規模な改修になりますと市が実施することとなり早期に対応できないこともあります。しかし、展示用の金具等については指定管理者で対応するように指示をしますとの説明がありました。

- ・美術展で各小中学校の部では展示数が多い学校があったり、少ない学校があったりし、展示数にばらつきが見受けられる。優秀な人の作品だけを展示するのではなく、児童・生徒全員が公平に参加でき自分に自信がもてるようなイベントにしてみてもどうかとの意見がありました。
- ・美術展の表彰式で賞状を渡す時に被表彰者の後ろ姿は見えるが顔は見えにくいので、顔や表情が分かるように表彰者と被表彰者が横に対等に並んで受け渡すようにしてはどうかとの意見があり、説明のあった方式は感謝状贈呈式での方式で、美術展については表彰状授与式であるため、現行の方式をご理解いただきたいとの説明がありました。また、三賞を受ける方々は壇上に上がり、賞状の授与を受けた後、受賞者全員が横一列に並び観客席に向いていただき、皆で称えるように配慮していますとの説明がありました。

〔柱4〕 施策「文化財の保護」

- ・江南市文化財マップを見て、江南市にも誇れる文化財が沢山あることに驚いている。これらの文化財の存在を次世代の子どもたちに伝えていくような事業を実施してはどうかとの意見があり、各学校が総合学習等の場で取り組んでいる学校区内の史跡めぐりがありますとの説明がありました。
- ・市内の無形文化財である、「安良の棒の手」や「今市場の獅子芝居」などの後継者を育成する取り組みについて質問があり、市としては保存会の活動に対して補助金を助成しています。具体的な取組については、それぞれの地区の保存会が後継者育成について努力をしていますが、やり手を募っても集まらない現実がありますとの説明がありました。
- ・それぞれの地区での後継者募集活動では限界もあるので、学校等で広く募集してみてもどうかとの提案がありました。
- ・昨年の Smart Cup での発表で市内に埋もれた歴史的な文化資源を発見する取組事例があった。そこに住んでいる人だけが知っているような歴史的な文化資源等も広く市民に PR するのもよいのではとの提案がありました。
- ・市内に埋もれた歴史的な文化資源ということであれば、今年、東野町で行われた東野神社例大祭「よほほい祭」での「よほほい號献馬」の引廻りが30年ぶりに復活した。「よほほい祭り」を知る、昔からそこに住む住民と新たにそこに移り住むようになった住民との協力により実現したこの祭りも歴史的に価値のあるものであるが、その由緒などを示す歴史的な文献がないために文化財登録の申請まで至らない事例があるとの意見がありました。
- ・今年度、これまで実施してきた「武功夜話セミナー」の記録をCDに編集し、図書館で貸し出しできるようにしたので是非利用してくださいとの説明がありました。

〔柱4〕 施策「国際・国内交流」

- ・市内に住む外国人の人数と国別の構成について質問があり、11月初めの外国人登録者数が1,835人であり、登録者数が100人を超える国の人数が多い順にブラジル・フィリピン・中国・ペルーでありますとの説明がありました。

- ・江南市は外国人に対する日本語教室等を行っているボランティアに対する支援が整備されており活動がしやすい。また、学校単位での活動では、教育環境が整備されていないアジアの諸国に学芸品を送る支援事業が活発に行われていますとの意見がありました。
- ・学校生活で外国人の子どもが習慣等の違いにより問題になることはないかとの質問があり、子どもに関しては習慣が違っていても環境適応能力が大人に比べて高いため学校生活において、特に目だった問題となることはないが、その保護者が日本語が話せないがために引きこもりになる傾向がありますとの説明がありました。また、このような問題を解決するような取り組みとして学校で、親子で参加する外国料理教室を通して交流する活動がありますとの説明がありました。
- ・「世界平和を願うパネル展」の来場者数が減っているためPRの仕方を工夫するようとの意見がありました。

4. その他

- ・前回の会議で委員から提言のあった「P・T・C・A制に関する取り組み」について、意見交換をおこないました。
- ・11月中旬以降に開催予定の第2回まちづくり会議（全体会議）に向け、これまでの会議で出された意見を事務局でまとめ全体会議に提出する予定であることの説明が事務局からありました。
- ・柴田会長、滝副会長、永井教育課長に、11月中旬以降に開催予定の第2回まちづくり会議（全体会議）への出席のお願いが事務局からありました。